

小田原市報

市議会十一月臨時会

小田原市建設計画の設定について審議

五力町村合併に基く

学童の旗行列など

多彩な祝賀行事

きまる

五力町村合併

本市は来る十二月一日を期して上府中村、酒匂町、國府津町、下曾我村及

び片浦村の五力町となつて、一躍面積九八、六八平方

料人口十一万一千九百四十六人の大小田原市として発足することとなりました。

この記念すべき日にあたり次のような合併祝賀行事を行ふこととし、大小田原市発足の日を全市あげて慶祝することにいたしました。

市民の皆様におかれましても、当日各戸毎に国旗を掲揚して合併をお祝いして下さいました。発足の日を全市あげて慶祝することにいたしました。

十二月一日午後一時から中央公民館で、市長、市議会議長、合併関係前町

合併祝賀式

氏を再任することに同意しました。

同日午前十時三十一一分開

会、会期を一日と定め、別

開市会議案方九十七号から

百号までの各議案を上程

鈴木市長よりそれぞれ提案

理由の説明が行われ、原案

のとおり可決されました。

次いで市会議案方七号「固

定資産評価査定委員会の運任について」を議題に

供し、任期満了の津山義嗣

氏を再任することに同意し

て、零時四十五分閉会いたしました。

「小田原市建設

計画の設定について」及び

「昭和二十九年度小田原市

歳入歳出追加予算」の

鈴木市長の提案理由の説明

は次のとおり。

△本市と上府中村、酒匂町

国府津町、下曾我村、及

び片浦村との合併につき

ましては、九月県議会に

上程を急ぎまして境界変

更の議決を願い、全県議

会におきまして可決され

たのであります。

十月二十六日県告示方六

百号を以て告示されました。

△本年三月三十日(雨天順延)

十二月三日(雨天順延)

二十九日(雨天順延)

三十日(雨天順延)

まえがき

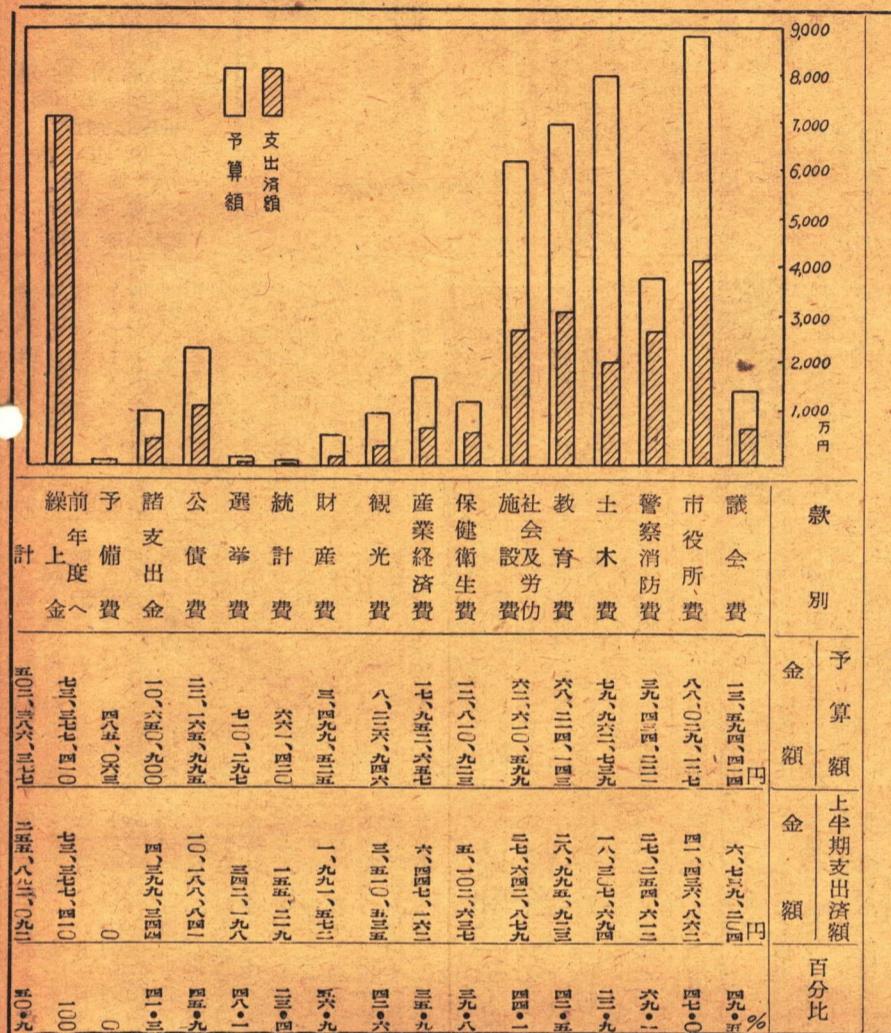
支出の概要について

予算額五億二百三十八万六千三百三十七円に対し今期は五〇・九%の二億五千五百八十九万二千九十三円を支出していますが、その支出概況は左表のとおりであります。

警察法改正により六月三十日をもつて市警察が廃止となつたので七月以降警察費の支出科目は整理され、消防費のみとなりました。消防費につきましては、年次計画の本年度分として才一分團ほか五分團に五馬力の小型動力ポンプを購入し、この費用一二〇万円を支出し、その他消防署及び消防団の維持運営に要する費用に充てられました。

この費用は大体、市内各小中学校、図書館、公民館、文武館等の教育上の諸施設の維持修繕、物性料費等であります。他として桜井小学校校地三〇四九坪買取費並びに校舎新築費一萬工事費約四〇〇万円を支出したほか、各校の増改築費等に支出されました。

卷之三



的に実施し、又環
の向上を期し、當時
貢を巡回させ、一
集芥自動車三台、
三台、人員三四名
一日平均約八〇
を集芥焼却、埋
より処理いたして
これ等に要した諸
あります。

○万円が支出されました
▼ 観光費

五十五万三千五百四十一円の収入で支出に比し、五百四百三十三万八千五百四十四円少くなつておりますが、これは一時借入金によつてあります。次に操作致しております。主な収入の内容を大畧記してみます。

てあります。▼公営企業及び財産収入本収入のうち五千八百円は、競輪事業の益金繰入れたものでありますて年間収入予算額の六三%を収入いたしまし
▼使用料及び手数料この収入は住宅、観光設、運動施設等の使用

産業経済費 この費用は主として諸種事業の振興に使われる支山で農林、商工各方面に亘り講習会、品評会、研究会等隨時開催し品質向上、生産拡充、販路開拓等農工業の各生業者に対する指導斡旋と他面工事關係では農林道の政発、土地改良建設工事等にも寄り入れましたが、大別して農業関係費に約三四〇

▼ 統計、選舉、公債、諸料が大部分の支出であります。

借入金の返済金並に利
等の支出、諸支出金は
として不動産の購入費
徴税費等に充てられま
た。

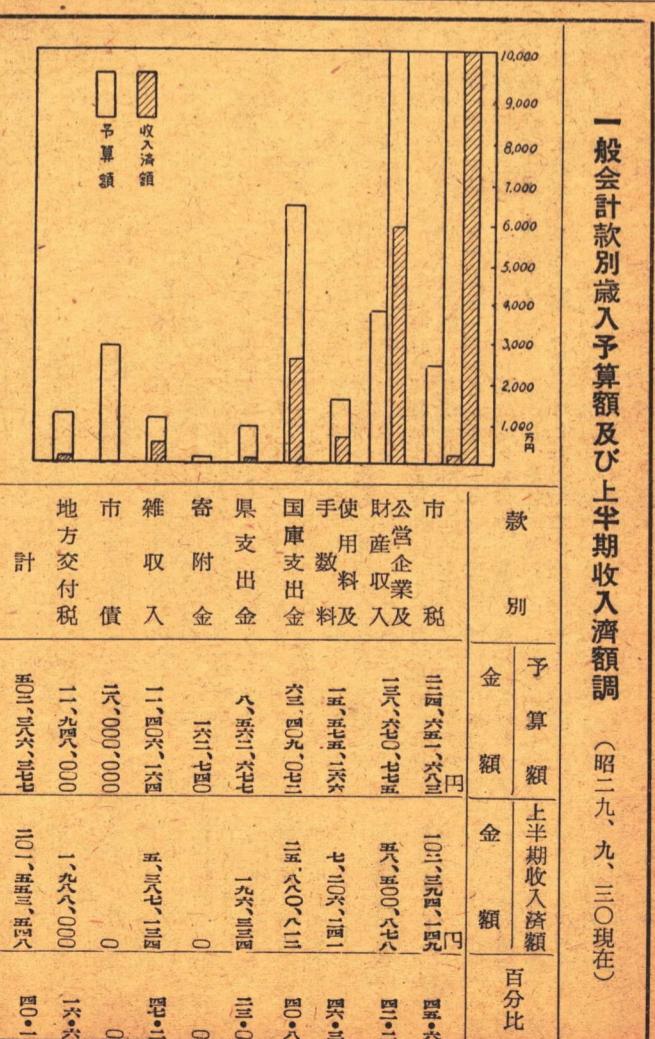
▽収入の概要について

(昭和二十九年度上半期)

今期二六〇万円余ありま
した。
財産費
市役所本庁舎を初め、各
市立小中学校その他市有
營作物に付する火災保険
並に選舉管理委員会の
費用で、次に諸事業を
うため國、県よりの借
金、市中銀行よりの二

一般会計款別歳入予算額及び上半期收入額調

(昭二九、九、三〇現在)



1

市稅々目別予算額調

税目	予算額	上半期調定額	徴収額	歩合
市民税	70,523,112	43,590,192	39,397,919	90・4
固定資産税	95,301,171	46,238,700	38,798,154	84・0
自転車荷車税	3,230,600	3,470,010	2,990,580	86・0
電気ガス税	17,715,274	6,062,841	4,506,439	74・3
煙草消費税	27,154,601	12,386,770	12,386,770	100・0
繰越分	10,726,925	10,932,220	2,390,913	21・9
過年度分		2,674,260	1,923,374	72・0
計	224,651,683	125,354,993	102,394,149	81・7

市債の状況

目的別	借入先	未償還元金
震災復旧費	神奈川県	1.337.526
教育費	資金運用部、郵政局	49.091.854
災害復旧費	"	16.175.392
産業経済費	"	38.971.613
社会及び労働施設費	"	32.529.945
土木費	"	24.390.122
戦災復旧費	"	2.520.274
消防費	"	5.222.381
上水道事業費	"	96.792.477
その他	資金運用部、県	5.316.937
計		272.348.521

が、本市の場合税収は昨年一度より減収が見込まれ、又地方財政平衡交付金法に代つて公布された地方交付税法による交付税額は、殆んど期待されず、この反面自治体警察の県運管に伴い経費の節約をみましたが、結局本改革によつて市財政には何等寄与するところがなかつたのであります。又今后市勢の伸張によつて建設事業、民生安定の諸施設の充実等により勢い市財政需用は増加を予想され、下半期も緊迫した財政を続けて行くのではないかと考えられます。勿論市におきましてもこのような苦境を打開すべく税収の確保、税源の増収等を

音養、競輪収益の増収等を

計つておりますが、一方諸経費の度より減収が見込まれ、又節減に努めておりますが、市民の皆様におかれましては、市財政に対し、格別の御理解と御協力をお願ひいたします。

電話増設のお知らせ

このたび教育委員会事務局に次の電話が増設になりました。

学校教育課 四〇二番
また、次の個所に電話がそぞれ新設になりました。
失業対策事務所 二、四三六番
小田原市健康学園 二、三七四番

▼決算概要について

昭和二十八年度における一般会計を始め、各会計別の歳入歳出概要については次表のとおりです。

昭和二十八年度歳入歳出決算概況(歳入)

費目	予算額	決算額	主なる収入の内容
市税	二二九、四八八、八八〇円	二一八、九五二、六六九円	
地方財政平衡交付金	九五、七〇〇、〇〇〇	二五、三六五、〇〇〇	
公営企業及財産収入	六三、四九三、〇九〇	六三、五七三、六六六	競輪利益金収入六一、〇〇〇、〇〇〇
手数料及使用料	一二、二五五、八五〇	一二、五六二、七〇〇	遊器具使用料二、八五〇、二五〇、証明閲覧手数料一、〇二九、九四五
国庫支出金	八七、七七七、六五四	八〇、〇九七、三二八	市民税一〇五、八八六、九四八
県支出金	一四、七〇七、〇二五	一三、九〇五、二八三	住宅建設費三四、八五九、六五二
寄附金	三、四一七、〇〇〇	二、六六一、九八七	失業対策費一一、五五六、六六四
市債	七六、八〇〇、〇〇〇	五六、〇〇〇、〇〇〇	保育所委託保護費三、五八八、七二六
雑収入	一一、二八九、三二一	一〇、五六九、七三〇・完	体育施設費一、七五〇、〇〇〇
計	五八四、九二八、八二〇	四八三、六八八、三六三・完	虐待児施設費一、〇〇〇、〇〇〇
議会費	一四、三六七、二七三円	二三、八六九、七〇七円	伝染病予防一、八〇九、三九八
市役所費	八四、五七七、二七一	八二、五八八、〇六五	産業経済費二、七四七、四九八
警察消防費	七〇、四五五、二九一	六九、八一〇、二三六	社会労働費一、〇〇〇、〇〇〇
教育費	土木費	九九、一、一八、二三九	教育費七六六、五〇〇
保健衛生費	施設費	八一、四〇八、三八六	予防接種料九六八、九二〇
産業経渉費	社会及労費	一一五、七六五、六六二	旅費一、二八三、八〇〇
観光費	財産費	一七、二六一、〇三四	職員給三九、一、一六、六七六
選舉費	統計調査費	二八、六六六、三二六	職員給一、二八三、八〇〇
財産費	三、二〇〇、一四一	二七、四〇六、六〇〇	報酬六、〇〇八、六七六
観光費	八、四二七、九八二	七、四五二、六五〇	消防費二、二六五、一三三
選舉費	七四六、三五一	二八八八、五五八	諸手当一二、七六五、三七〇
選舉管理委員会費	五七六、三七六	五七六、三七六	諸手当一二、七六五、三七〇

昭和二十八年度歳入歳出決算概況(歳出)

費目	予算額	決算額	主なる支出の内容
議会費	一四、三六七、二七三円	二三、八六九、七〇七円	旅費一、二八三、八〇〇
市役所費	八四、五七七、二七一	八二、五八八、〇六五	職員給三九、一、一六、六七六
警察消防費	七〇、四五五、二九一	六九、八一〇、二三六	職員給一、二八三、八〇〇
教育費	土木費	九九、一、一八、二三九	報酬六、〇〇八、六七六
保健衛生費	施設費	八一、四〇八、三八六	消防費二、二六五、一三三
産業経済費	社会及労費	一一五、七六五、六六二	諸手当一二、七六五、三七〇
観光費	財産費	一七、二六一、〇三四	諸手当一二、七六五、三七〇
選舉費	統計調査費	二八、六六六、三二六	諸手当一二、七六五、三七〇
財産費	三、二〇〇、一四一	二七、四〇六、六〇〇	諸手当一二、七六五、三七〇
観光費	八、四二七、九八二	七、四五二、六五〇	諸手当一二、七六五、三七〇
選舉費	七四六、三五一	二八八八、五五八	諸手当一二、七六五、三七〇
選舉管理委員会費	五七六、三七六	五七六、三七六	諸手当一二、七六五、三七〇

昭和二十八年度歳入歳出決算概況(歳出)

費目	予算額	決算額	主なる支出の内容
議会費	一四、三六七、二七三円	二三、八六九、七〇七円	旅費一、二八三、八〇〇
市役所費	八四、五七七、二七一	八二、五八八、〇六五	職員給三九、一、一六、六七六
警察消防費	七〇、四五五、二九一	六九、八一〇、二三六	職員給一、二八三、八〇〇
教育費	土木費	九九、一、一八、二三九	報酬六、〇〇八、六七六
保健衛生費	施設費	八一、四〇八、三八六	消防費二、二六五、一三三
産業経済費	社会及労費	一一五、七六五、六六二	諸手当一二、七六五、三七〇
観光費	財産費	一七、二六一、〇三四	諸手当一二、七六五、三七〇
選舉費	統計調査費	二八、六六六、三二六	諸手当一二、七六五、三七〇
財産費	三、二〇〇、一四一	二七、四〇六、六〇〇	諸手当一二、七六五、三七〇
観光費	八、四二七、九八二	七、四五二、六五〇	諸手当一二、七六五、三七〇
選舉費	七四六、三五一	二八八八、五五八	諸手当一二、七六五、三七〇
選舉管理委員会費	五七六、三七六	五七六、三七六	諸手当一二、七六五、三七〇

昭和二十八年度水道事業費

費目	予算額	決算額	主なる支出の内容
計	九〇一、七〇九、五八八	九〇一、七〇九、五八八	前年度繰越金
予備費	四六、〇二三	四六、〇二三	前年度繰越金
建設改良費	七、三七一、二九五	七、三〇〇、六四八	建設改良費
競輪開催費	一五、〇二三、八七二	一四、二二七、四七一	競輪開催費
諸支外出金	八七九、〇六八、三九八	八七七、二七七、四九八	諸支外出金
予備費	二〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	予備費
計	九〇一、七〇九、五八八	九〇一、七〇九、五八八	前年度繰越金

昭和二十八年度水道事業費

費目	予算額	決算額	主なる支出の内容
計	九〇一、七〇九、五八八	九〇一、七〇九、五八八	前年度繰越金
予備費	四六、〇二三	四六、〇二三	前年度繰越金
建設改良費	七、三七一、二九五	七、三〇〇、六四八	建設改良費
競輪開催費	一五、〇二三、八七二	一四、二二七、四七一	競輪開催費
諸支外出金	八七九、〇六八、三九八	八七七、二七七、四九八	諸支外出金
予備費	二〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	予備費
計	九〇一、七〇九、五八八	九〇一、七〇九、五八八	前年度繰越金

昭和二十八年度國民健康事業費

費目	予算額	決算額	主なる支出の内容
計	九〇一、七〇九、五八八	九〇一、七〇九、五八八	前年度繰越金
予備費	四六、〇二三	四六、〇二三	前年度繰越金
業務費	七、三七一、二九五	七、三〇〇、六四八	業務費
諸支外出金	八七九、〇六八、三九八	八七七、二七七、四九八	諸支外出金
予備費	二〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	予備費
計	九〇一、七〇九、五八八	九〇一、七〇九、五八八	前年度繰越金

昭和二十八年度國民健康事業費

費目	予算額	決算額	主なる支出の内容
計	九〇一、七〇九、五八八	九〇一、七〇九、五八八	前年度繰越金
予備費	四六、〇二三	四六、〇二三	前年度繰越金
業務費	七、三七一、二九五	七、三〇〇、六四八	業務費
諸支外出金	八七九、〇六八、三九八	八七七、二七七、四九八	諸支外出金
予備費	二〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	予備費
計	九〇一、七〇九、五八八	九〇一、七〇九、五八八	前年度繰越金

昭和二十八年度國民健康事業費

費目	予算額	決算額	主なる支出の内容
計	九〇一、七〇九、五八八	九〇一、七〇九、五八八	前年度繰越金
予備費	四六、〇二三	四六、〇二三	前年度繰越金
業務費	七、三七一、二九五	七、三〇〇、六四八	業務費
諸支外出金	八七九、〇六八、三九八	八七七、二七七、四九八	諸支外出金
予備費	二〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	予備費
計	九〇一、七〇九、五八八	九〇一、七〇九、五八八	前年度繰越金

昭和二十八年度國民健康事業費

費目	予算額	決算額	主なる支出の内容
計	九〇一、七〇九、五八八	九〇一、七〇九、五八八	前年度繰越金
予備費	四六、〇二三	四六、〇二三	前年度繰越金
業務費	七、三七一、二九五	七、三〇〇、六四八	業務費
諸支外出金	八七九、〇六八、三九八	八七七、二七七、四九八	諸支外出金
予備費	二〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	予備費
計	九〇一、七〇九、五八八	九〇一、七〇九、五八八	前年度繰越金

昭和二十八年度國民健康事業費

<tbl

才十回国体大会

小田原市準備委員会 発足す

球場(新設)
市営球場、市営天神山
球場、(分広舎上)
小田原高校球場
陸上競技(一般対学生)
総合運動場陸上競技場

会長 市長鈴木十郎
副会長
市議会議長山口武利
体連会長 佐藤謙吉
市教育委員長難波博夫
事務局機構

局長 (市助役) 原元助

総務部長 (市總務部長)

黒柳辰次郎

演技術部長 (市教育長)

衛生部長 (県立小田原保健所長) 高橋武夫

宿舎交通広報部長 (市民施設部長) 曽我尚夫

片岡栄太郎

三本

農産物品評会を来る十二月期

昭和二十九年小田原市冬期

同建設案は、才一期工事と

して本館、宿泊所、食堂を

昭和三十年十月の尊徳先生

百年祭までに完成させよう

とするもので、この工費概

算は約七百万円であります

ます。本品評会は十二月一

日合併される上府中村、酒

匂町、国府津町、下曾我村

片浦村の五ヶ町村を含め、

中央公民館において開催し

ます。この中間報告を

十月一日から十月三十一日

いたします。

(十一月十五日現在集計)

目標額

一、五一七、〇〇〇円

実績額

一、三九八、六九四円

内訳 (目標額の九二%)

○戸別募金

一、一九〇、四二一円

○街頭募金

一、〇五、五九一円

○大口募金

九九、〇〇〇円

○無人スタンド

三、六八二円

支えるばかりでなく、滞納

整理の費用が余計にかかる

実施された共募金につい

て、税が税を喰う、といふ

ようなことになります。こ

れで、税が税を喰う、といふ

ことになります。この

問題の下に、

「建築港を促進せよ」

「物価が少し高い、仕入

して駅前の整備を図れ」

「美しい都市の才一条件と

して駅前の整備を図れ」

「市民の気分はもう少し積極

的であれ」、「観光の象徴と

して小田原城の復元を図れ

る」といふ意見が多数出ま

した。これに対し市長から

議論が行われ

ました。これに対し市長から

お話し相手として鈴木市長が出来ました。

市民皆さん

の話を聞き、建設したいとの挨拶があ

りました。なお、この録音

ニッポン放送の「街頭

議論」の録音が行われ

ました。これに対し市長から

お話し相手として鈴木市長が出来ました。

市長が出来ました。

市長が出来ました。